

日本語の習得状況に応じた指導者用向け教材（DVD）

◆ チャプター 1 「外国人児童生徒教育の現状とDVDの内容紹介」

1. 生活適応指導

◆チャプター 2

タイトル	給食のエプロン、帽子等の脱着、たたみ方の指導
教材との関連	■にほんごワークブック1 「がっこうせいかつ」 3 きゅうしょく
事前指導	■就学時の保護者との面談で、給食について以下のことを確認しておくといよいでしょう。 ・献立 ・食材 ・給食当番 ・持ち物（ナフキン・マスク）等 ・アレルギーや宗教等により、食べられないもの ■食べたことのない献立については、家庭で食べられるかどうか試してもらうことが望ましいです。
本時の目標	■活動の目標 給食のエプロン、帽子等の脱着やたたみ方を知ることができる。 ■日本語の目標 給食のエプロン、帽子の脱着の動作を通して、「きます」「かぶります」「ぬぎます」を理解することができる。
指導のポイント	☆写真や実物を使いながら、説明しましょう。 ☆既習の「いい」「ダメ」を繰り返して使って定着させましょう。 ☆やさしい日本語を使って説明しましょう。 ☆一方的な説明ではなく、ことばのやり取りをしましょう。

◆チャプター 3

タイトル	傘の差し方、片付けの仕方の指導
教材との関連	■にほんごワークブック1 「がっこうせいかつ」 1 1 どう下校
事前指導	■文化の違いにより、傘を差す習慣のない国もあることを考慮し、実物を準備するとよいでしょう。
本時の目標	■活動の目標 安全に傘を使ったり、片付けたりすることができる。 ■日本語の目標 傘を差したり、片づけたりする動作を通して、「ひらきます」「さします」「とじます」を理解することができる。
指導のポイント	☆実物を使いながら、説明しましょう。 ☆役割演技等を通して、雨の日の状況をイメージさせましょう。 ☆既習である「いい」「ダメ」を使って、マナーを指導しましょう。 ☆うまくできるまでやらせて、必ず褒めましょう。

◆チャプター 4

タイトル	靴の履き方、脱ぎ方の指導
教材との関連	
事前指導	■文化の違いにより、靴の履き替えをしない国が多くあります。保護者との面談において、上靴を準備することを理解してもらいましょう。
本時の目標	■活動の目標 靴の履き方、脱ぎ方、下足箱への入れ方を知ることができる。 ■日本語の目標 靴を履いたり、脱いだりする動作を通して、「はきます」「ぬぎます」「そろえます」を理解することができる。
指導のポイント	☆実際に玄関の下足箱で実施しましょう。 ☆代表ではなく、必ず全員に体験させましょう。 ☆やさしい日本語を使って説明しましょう。 ☆下足箱の写真を貼って、継続して指導しましょう。

◆チャプター 5

タイトル	朝の会の指導
教材との関連	■にほんごワークブック1 「がっこうせいかつ」 1 あいさつ 5 きょうしつのことば 「ひらがな」 1 ～ 1 5 「ことばのべんきょう」 1 ぶんぼうぐ 2 もちもの ■にほんごワークブック2 「ことばのべんきょう」 1 3 てんき 1 8 べんきょうでつかうもの
事前指導	■日直を順番に回し、すべての子どもに号令や司会進行をさせることが、学校へ戻ってからの当番活動や係活動に自信をもって取り組む姿につながります。
本時の目標	■活動の目標 毎日学校生活で行われる活動に慣れるとともに、教師や仲間の話を話し手の目を見て聴くことができる。
指導のポイント	☆「元気です」で済ませず、既習の日本語を使って、本当の自分の体調が言えるように指導しましょう。 ☆自分の名前をきちんと呼んでもらえることで、教室が居場所になり、アイデンティティが高まります。 ☆学習するための準備を整える習慣をつけさせましょう。 ☆字を指し示しながら歌うことは、音声と文字の一致につながります。 ☆計算の正確さだけでなく、数字の読み方にも着目して指導しましょう。 ☆やさしい日本語で話したり、写真や実物を見せたりしながら、分かりやすく話しましょう。

## 2. 初期の日本語指導

### ◆チャプター 6

タイトル	身近なことばの学習 ～食べ物～
教材との関連	■にほんごワークブック1 「ことばのべんきょう」 9 たべもの ■にほんごワークブック2 「カタカナ 」 30 たべもの 「ぶんのべんきょう」 すきなもの
前時まで	
本時の目標	・給食の献立にある「たべもの」の名前を覚え、「私は、〇〇がすきです。／〇〇がきらいです。」「▲▲さんは、〇〇がすきです。／〇〇がきらいです。」と話すことができます。 ・給食の献立にある「たべもの」の名前をひらがなで書くことができます。
指導のポイント	☆子どもとのやり取りを通して、本時に扱いたい内容の背景知識を活性化させましょう。 ☆子どもにとって身近なことばを選びましょう。 ☆文字と絵を合わせることで、音声と文字の一致を促します。 ☆母文化にない食べものも意図的に示すことで、日本の食文化も教えます。 ☆語彙は、文脈の中で教えましょう。 ☆表現させるときは、本当の自分の気持ちを表現させましょう。 ☆岐阜県教育委員会作成の初期指導用教材ワークブック①は、授業で使うだけでなく、家庭学習にも活用できます。

### ◆チャプター7

タイトル	身近なことばの学習 ～教科名～
教材との関連	■にほんごワークブック1 「がっこうせいかつ」 7 じかんわり 「ことばのべんきょう」 5 きょうかめい
前時まで	
本時の目標	・絵を見て、教科の名前を日本語で言ったり書いたりすることができる。
指導のポイント	☆子どもとやり取りをしながら、ことばを導入しましょう。 ☆母語での言い方を確認すると、理解を促すことができます。 ☆学年に応じて、覚える教科を変えましょう。 ☆絵カードを使ったり、動作で示したりすると分かりやすくなります。 ☆絵カードを合わせる活動を通して、文字を書かずにことばを覚えられます。 ☆ワークブックを使って定着を図りましょう。

### ◆チャプター 8

タイトル	身近なことばの学習 ～家族～
教材との関連	■にほんごワークブック1 「ことばのべんきょう」 7 かぞく
前時まで	■1人称「わたし／ぼく」と2人称「あなた」を理解している。
本時の目標	・自分の家族について日本語で説明することができる。
指導のポイント	☆「おじいさん」「おじさん」等間違えやすいことばに気を付けましょう。 ☆絵カードを使うと分かりやすいです。 ☆絵カードを合わせる活動を通して、文字を書かずにことばを覚えられます。 ☆面談で聞き取った家族構成を把握しておきましょう。 ☆年齢を聞いて、「おにいさん・おねえさん・おとうと・いもうと」の表現に間違いがないかを確認しましょう。 ☆話したことを書かせましょう。

## 3. 初期の日本語指導（後期）

### ◆チャプター 9

タイトル	動詞の活用 ～辞書の形から丁寧な言い方「～します」「しました」へ
教材との関連	■にほんごワークブック1 「ことばのべんきょう」 10 うごきことば（どうし） ■にほんごワークブック2 「ぶんのべんきょう」 がっこうたんけん～うんどうかい
前時まで	■よく使う動詞の基本形を知っている。
本時の目標	・丁寧な言い方をするとき、動詞の形が変化することを知り、分類しながら自分のことについて話したり、書いたりすることができる。
指導のポイント	☆絵カードの提示や動作による視覚化が、子どもの理解を助けます。 ☆ことばは、場面や状況とセットで、文脈の中で教えましょう。 ☆動詞の変化の分類を色分けで分かりやすくしています。 ☆明示的な説明ではなく、子どもの気付きを大切にしましょう。 ☆間違いについては、文字を音声で表現させながら、自分で間違いに気付かせるのもよいです。 ☆岐阜県教育委員会作成の初期指導用教材ワークブック①は、授業で使うだけでなく、宿題として使うこともできます。

## 4. 教科と日本語の統合学習

### ◆チャプター 10

タイトル	算数の指導
前時まで	■1から9までの数字を日本語で読むことができる。
本時の目標	■教科の目標 ・兆の位までである大きな数を、日本語で正確に読むことができる。 ■日本語の目標 ・日本語の数字の読み方を知り、兆の位までの数を正確に相手に伝えることができる。
指導のポイント	☆母語で知っている教科の知識を引き出ししましょう。 ☆漢字の書き順を色分けで示すことで、整った漢字を書けます。